

平成 29 年度第 2 回水工学委員会幹事会 議事録 (案)

日時：2017 年 10 月 6 日 12:00~13:00 場所：土木学会 A・B 会議室

出席者：清水康行、竹林洋史、石平博、泉典洋、大石哲、川越清樹、木村一郎、清水義彦、戸田祐嗣、宮本仁志、矢島啓、浅沼順、諏訪義雄、田中規夫、中津川誠、原田守博、渡邊明英、巖島怜、今村能之、内田龍彦、音田慎一郎、瀬戸心太、前野詩朗、横嶋哲、入江政安 (議事録)

#### 議事次第：

##### <報告事項>

1. 水工学に関する夏期研修会 (8 月 31 日(木)~9 月 1 日(金)、大阪大学) 資料 1 p.1
2. 全国大会研究討論会 (九州大学) 資料 2 - 5 p.30
3. 各部会、小委員会、関連委員会の活動報告及び活動計画資料 2 p.5
  - 部会：水文部会 (資料 2 - 1)、河川部会、基礎水理部会 (資料 2 - 2)、環境水理部会 (資料 2 - 3)
  - 常置小委員会：ISO/TC113、水害対策 (資料 2 - 4)
  - 研究小委員会：流量観測高度化、グローバル気候変動適応研究推進 (資料 2 - 5)
  - 出版関連：論文編集委員会、水理公式集編集小委員会
  - 関連委員会：減災・防災 (資料 2 - 6)、河川懇談会、海岸 (資料 2 - 7)、CommonMP、流域管理と地域計画の連携、沿環連、沿岸・気候変動 (資料 2 - 8)、地球環境、環境システム
4. 水工学委員会内規の改正資料 3 p.38
5. 第 8 回アジア土木技術国際会議 (CECAR8) について
6. その他

##### <<協議事項>>

1. 平成 29 年度第 62 回水工学講演会の開催について (岡山大学) 協議資料 1 p.40
2. 平成 30 年度第 63 回水工学講演会の開催について (北海道大学) 協議資料 2 p.49
3. 平成 30 年度水シンポジウムについて (静岡県) 協議資料 3 p.52
4. 平成 30 年度水工学に関する夏期研修会について (水工学委員会担当) 協議資料 4 p.63
5. その他

#### 資料 (事前にメールで配信)：

H29 第 2 回幹事会議事.pdf, 2017 年第二回水工学委員会幹事会配付資料ページ番号あり.pdf

#### 議事録：

##### <報告事項>

1. 水工学に関する夏期研修会 (8 月 31 日(木)~9 月 1 日(金)、大阪大学) 資料 1 p.1  
実施報告が行われた。A コース 117 名、B コース 72 名で、40 万円程度の黒字になる予想であることが報告された。黒字の要因としては、参加者数の回復と印刷費の縮減に依るものと報告された。また、試みとして行った両コース共通講義 (土質力学とアセットマネジメント) については概して好評であった。

## 2. 全国大会研究討論会（九州大学） 資料2－5 p.30

あとの部会報告時に併せて報告されるので省略した。

## 3. 各部会、小委員会、関連委員会の活動報告及び活動計画 資料2 p.5

水文部会から、部会構成、全国大会実施時の部会、7月8-9日に実施した第18回地下環境水文学に関する研究集会、9月29-30日に鹿児島・種子島で実施した部会研究集会について報告があった。また、今後の予定として水工学講演会時に本年度第2回の部会を、また、講習会（国際誌のエディター、レビュアーから若手対象の論文執筆に関する講義）を開催する予定であると報告された。また、10月31日～11月1日に沖縄で開催の水シンポジウムについて、協力の内容が報告され、参加案内があった。

基礎水理部会から、部会内規を作成し次回委員会に諮ること、オブザーバー制の導入、新WG「流砂・河床変動に関する若手勉強会」の発足について報告があった。今後の予定として、12月6日に土木学会講堂にて「基礎水理シンポジウム2017」を、10月22-24日に大井川・安倍川において河川見学会（H29年度第2回基礎水理部会を兼ねる）を開催する予定が報告された。また、8/19-8/24に東京で開催される12th International Symposium on Ecohydraulicsについて開催内容の紹介と参加依頼があった。また、iRIC10周年記念行事について紹介があった。

環境水理部会から4つあるWGのうち、樹林化WGが動的総合土砂管理に関するWGに合流すること、全国大会において部会を開催したことの報告があった。また、11月7日に松江において開催するシンポジウム「ダム貯水池の水環境に関する現状と将来 in 島根」の案内があった。

水害対策小委員会から、九州北部豪雨に関して災害調査団（団長：九大島谷教授）の結成と調査の実施、全国大会時に速報会を開催したことの報告があった。水シンポジウム時に沖縄において、九州北部豪雨災害調査のミニ報告会を、水工学講演会時に河川災害に関するシンポジウムを開催する予定が報告された。

グローバル気候変動適応研究推進小委員会から、全国大会時の第1回小委員会の開催、全国大会共通セッション「気候変動による影響への適応」を企画し5件の発表があったこと、全国大会研究討論会「水工学分野の気候変動適応研究において社会実装の促進に何が必要か？」を開催した旨の報告があった。今後の予定として、海岸工学委員会内の気候変動適応小委員会と連携して、重点課題への応募を計画していること、平成30年度全国大会における企画セッションおよび研究討論会を提案すること、幹事会および委員会を各1回程度実施予定であることが報告された。

論文編集委員会からは通常号への投稿依頼があった。

水理公式集編集小委員会から、進捗状況と今後の予定について報告があった。今月末をめどに初校ができる予定である。

減災・防災委員会から、第1回緊急対応マネジメント小委員会が開催され、発災時の現地調査における課題について意見交換を行い、各委員会の災害調査派遣ルールを相互に提供し、情報共有を図り、土木学会として最低限守るべきもの等を整理することにした旨報告があった。

海岸工学委員会から、H29-H30の体制、本年度（10/25-27、札幌）および次年度（2018/11/14-16）の海岸工学講演会の開催予定、英文誌 Coastal Engineering Journal の出版社変更（Taylor and Francis）とその理由について報告があった。

海岸工学委員会の沿岸域の気候変動影響評価・適応検討に関する小委員会（略称：気候変動小委員

会) について、当面の活動の方針などが資料に沿って報告された。

#### 4. 水工学委員会内規の改正 資料3 p.38

竹林幹事長より、前回委員会およびメール審議を行った委員会内規の改正について報告があった。

#### 5. 第8回アジア土木技術国際会議 (CECAR8) について

2019年4月16日-18日に東京において、開催されるアジア土木学協会連合協議会 (ACECC) 主催「アジア土木技術国際会議」について紹介があった。

#### 《協議事項》

##### 1. 平成 29 年度第 62 回水工学講演会の開催について (岡山大学) 協議資料 1 p.40

吉田幹事より本年度の水工学講演会の実施計画について説明があり、承認された。特別講演では、当初予定していた金田義行氏、小嶋光信氏のご講演の後に、中央大福岡教授によるアイオア大中藤達昭先生の業績紹介が追加で実施されること、そのため、懇親会の開始時刻を 30 分繰り下げたことが報告された。また、ホテルの予約を早めに行うよう案内があった。

検討の結果、おかやま観光コンベンション協会への申請を行うことになった。外国人の訪問数が重要となるので、留学生の記帳について依頼と情報発信を行うこととした。なお、コンベンション協会へ報告する外国人の情報には国籍も必要であるが、国籍等の記載を望まない参加者については記帳を強制しない旨確認した。また、例年、発表者の記帳を実施していないが、これも参加者数確認のために必要である。

##### 2. 平成 30 年度第 63 回水工学講演会の開催について (北海道大学) 協議資料 2 p.49

泉幹事より次年度の水工学講演会の実施計画案について説明があり、原案の方向で承認した。大きな変更点としては、開催日が 2018 年 11/25(日)~27(火) となることであり、これにより全体のスケジュールも変更となることである。宮本論文編集幹事長より論文の締め切りが 5 月末になる原案が示された。

##### 3. 平成 30 年度水シンポジウムについて (静岡県) 協議資料 3 p.52

幹事長より次年度の開催となる「第 23 回水シンポジウム 2018 in ふじのくに・沼津」の実施体制、プログラム案について報告され、原案の方向で進めることを承認した。

##### 4. 平成 30 年度水工学に関する夏期研修会について (水工学委員会担当) 協議資料 4 p.63

幹事長より次年度、山口で開催予定の水工学に関する夏期研修会について、日程案、会場案について説明があり、原案の方向で進めることとなった。

以上